

糸満4強

センバツへ前進

秋季九州高校野球

明豊に9-6



糸満―明豊 2回糸満1死二塁、ライト前へ先制適時打を放つ金城旭貞。27日、福岡県の筑豊緑地野球場

来春の選抜大会(春の甲子園)出場校選考の参考資料となる高校野球の秋季九州大会(第135回九州大会)は27日、福岡県の筑豊緑地野球場などで準々決勝があり、糸満(沖縄2位)が明豊(大分1位)に延長十一回9-6で競り勝った。選出の目安が4強進出とされるため、糸満は選抜大会出場に大きく前進した。甲子園出場が決まれば2011年夏以来で、春は初。通算2度目の出場となる。

糸満は二回に1点を先制。その後も着実に加点したが、6-2の九回に3点本塁打などで同点に追いつかれた。迎えた延長十一回、1死一、二塁から大城龍生の2点適時打で勝ち越しに成功、さらに太田貴斗の適時打で駄目押しした。

準決勝は29日、北九州市民球場であり、糸満は午後0時半からの第2試合で神村学園(鹿児島1位)と対戦する。

糸満

00102000012
00100000014

明豊

(大分)
(延長十一回)003
0069